

今後の公務員制度改革の進め方について

国家公務員制度改革推進本部第2回会合（平成20年12月2日（火））

（1）甘利公務員制度改革担当大臣（副本部長）発言要旨

国家公務員制度改革は重要な課題であり、本年六月に成立した「国家公務員制度改革基本法」に規定された各般の課題について、政治主導でしっかりと進める必要がある。

（1. 内閣人事局設置の時期）

「基本法」に基づく改革のうち、特に、幹部職員等の一元管理と公務員全体の人事管理の説明責任を担う内閣人事局の設置は、改革全体の中で、極めて重要な位置を占めるもの。できれば早期に立ち上げることが望ましいものであるが、早期の設置を急ぐあまり、十分な議論をつくさず、結果として、せっかく設置した内閣人事局が十分に機能しないというようなことがあってはならない。

そこで、強引に平成二十一年度予算に間に合わせるのではなく、その他の改革課題との整合性も踏まえて、「しっかり」とした結論を得た上で、基本法の趣旨に沿った改革をきちんと実現することこそが「拙速」でも「先送り」でもない進め方であると考え、内閣人事局については、平成二十二年四月の発足を目指し、来年三月の法案提出に向け、必要な作業を鋭意進めることとした。

今後、各方面とよく議論をしつつ内閣人事局の具体化を進めていくが、私としては、内閣人事局への機能移管については、顧問会議の「報告」を尊重して関係府省等と折衝を進めたいと考えている。総務省行政管理局については、「報告」においては両論併記であったが、移管する方向で折衝を進めたいと考えている。

（2. 工程表の策定）

先ほど申し上げたように、内閣人事局の設置を二十二年度にすることは、断じて改革の先送りではなく、むしろ、改革をしっかりと進めていくためには、内閣人事局だけでなく今般の公務員制度改革の全体像とそのスケジュールをあわせて検討し、国民の皆様に対し、公務員制度改革を大胆かつ着実に推進していくこととお示しして、ご理解を得ることが重要と考えている。

具体的には、法案提出に先駆け、基本法に掲げるそれぞれの改革事項について、いつまでに実現するのかということをも具体的に示した改革の「工程表」を、来年一月中を目途に政府として決定したいと考えている。このための作業に早急に取りかかる。その際、基本法の定める全体として五年のスケジュールについては四年に短縮する方向で検討したい。

また、「工程表」には、（一）給与制度見直しの方向性やスケジュール、また、（二）労働基本権の見直しのスケジュールについても盛り込む。

（3. 閣僚への協力依頼）

公務員制度を「しっかりとした」ものとするためには、関係閣僚各位の御協力が不可欠。各位の積極的なご支援と御協力を切にお願い申し上げます。

(2) 麻生内閣総理大臣（本部長）発言要旨

1. ただいま甘利大臣から説明のあった方針については、その方向で進めていきたい。
2. 特に重要なのは、しっかりとした工程表を作ること。改革の方向性やスケジュールについて、内閣としての公務員制度改革に取り組む決意を、国民に対しきちんとお示しすること。
3. 内閣としては、公務員制度改革を拙速とか先送りとか言われると思うが、毅然とした態度を示すことで十分に説明できる。大きな制度改革であり、関係各位の御協力が不可欠であり、宜しく願いしたい。

(参考) 労使関係制度検討委員会第2回会合（平成20年12月3日（水））

甘利公務員制度改革担当大臣発言要旨

公務員制度改革については、政府の重要な課題であり、基本法に基づき、着実に取り組んでいく必要がある。能力及び実績に応じた処遇の徹底などを基本理念とする今回の公務員制度改革を進めるに当たっては、労使関係制度の検討は避けてとおることのできない課題である。

今回の公務員制度改革では、国家公務員制度改革基本法により、「協約締結権を付与する職員の範囲の拡大に伴う便益及び費用を含む全体像を国民に提示し、その理解のもとに、国民に開かれた自律的労使関係制度を措置するものとする」とされている。これは、与野党の修正協議の後に、このような表現となったものである。

また、今般、「顧問会議」から、内閣人事局の機能のあり方等に関する報告を頂いた。

本委員会におかれては、国民の理解を得られるような「協約締結権を付与する職員の範囲の拡大に伴う便益及び費用を含む全体像」について早急にご検討いただき、自律的な労使関係制度の措置の具体的な内容について、従来は21年度中、とお願いしていたところであるが、全体の改革を、5年から4年に前倒しするため、21年中、少しでも早く結論を出すことを、改めてお願いする。

私は、改革を前進させる、拙速も先送りもしないという意味で、全体の改革を渡辺大臣の示した5年から、私は4年にする。その間、1年、3年、5年という渡辺大臣がつくられた工程表を短縮をし、1年、2年、4年にしたいと思っている。そういう工程表をバインディングをして、一部、部分食い逃げというようなことにならないようにするという決意を既に申し上げている。